

平成27年第1回史跡加曾利貝塚総括報告書編集部会 議事録

1 日 時 平成27年7月29日（水） 午後3時20分～午後5時00分

2 場 所 千葉市埋蔵文化財調査センター

3 出席者 （委員）

石川委員、泉委員、大貫委員、高橋委員（部会長）、岡本委員、
設楽委員、藤尾委員

（事務局）

飛田文化財課特別史跡推進担当課長、堀越加曾利貝塚博物館長、
松山埋蔵文化財調査センター所長 その他事務局職員

（オブザーバー）

千葉県教育庁教育振興部文化財課 大内主任上席文化財主事

4 議 題

議事

- (1) 部会長・副部会長の選任
- (2) 総括報告書の編集方針について
- (3) 総括報告書の構成について

5 議事の概要

議事

- (1) 部会長・副部会長の選任

部会長には委員の互選により、高橋委員が選任された。また、副部会長には佐藤委員が指名された。

- (2) 総括報告書の編集方針について

事務局から説明した後、質疑応答を行い、次回以降の部会開催前には各委員にその時点での分析結果等のデータを情報提供することとした。

- (3) 総括報告書の構成について

事務局から説明した後、質疑応答を行い、各章の個別の分析結果を総括する節を新たに設けることなど、総括の項目はさらに検討することとした。

6 会議経過

開会

(飛田担当課長)

ただいまより、平成27年度第1回史跡加曾利貝塚総括報告書編集部会を開催します。本部会の議事録は事務局が作成し、部会長の承認により確定します。それでは、事務局の職員を紹介します。

【職員紹介】

委員紹介

(飛田担当課長)

続いて、委員の皆様をご紹介します。お名前を呼ばれた方はその場でご起立ください。

【委員紹介】

(飛田担当課長)

なお、本日、佐藤委員におかれましては欠席でございますが、委員半数以上のご出席をいただいておりますので、会議は成立しておりますことをご報告申し上げます。

議題(1) 部会長・副部会長の選任

(飛田担当課長)

部会の部会長と副部会長の選任ですが、部会長が決まるまでの間、このまま私が進行を務めさせていただきます。部会長につきましては、史跡保存整備委員会設置条例第7条第7項によって、委員の互選となっています。いかが取り計らったらよろしいでしょうか。

(岡本委員)

縄文時代の文化や社会について、広い見識をお持ちの高橋委員を推薦します。

(飛田担当課長)

ただいま岡本委員より高橋委員とのご意見がありました。他に意見等ございますか。

【他に意見無し】

(飛田担当課長)

他にご意見がないようですので、高橋委員に部会長をお願いしたいと思います。

それでは高橋部会長、席のご移動をお願いします。

(高橋部会長)

加曾利貝塚の特別史跡に向けて、委員の皆様と良い報告書ができるようにしたいと思いますので、よろしくをお願いします。

(飛田担当課長)

ここからの進行は、高橋部会長をお願いします。

(高橋部会長)

副部会長についてですが、総括報告書の中では加曾利貝塚の狩猟に関することも充実してくるかと思えます。そこで、本日はご欠席ですが、動物考古学を専攻しておられる慶應義塾大学の佐藤孝雄委員を副部会長に指名したいと思います。いかがでしょうか。

【「ぜひ」という声あり】

(高橋部会長)

それでは、佐藤委員を副部会長に指名させていただきます。佐藤委員には事務局からお伝えください。

議題（２）総括報告書の編集方針について

(高橋部会長)

続いて、議題の２、総括報告書の編集方針について、事務局から説明をお願いします。

【事務局から説明】

(藤尾委員)

加曽利貝塚は縄文時代の晩期中葉までとありますが、具体的にはいつごろなのでしょう。

(事務局職員)

(時代を測定する土器型式では)土器の破片として、大洞C1式土器が出土しています。突帯文土器以前であり、弥生時代が始まる前と考えてください。

(石川委員)

「周囲の低地に当時の地層が残る」という記載について、加曽利貝塚の東側の低地は、貝塚を理解するうえで非常に重要な要素として保存されていますが、この部分のボーリング調査は行っているのでしょうか。

(事務局職員)

ボーリング調査は行っており、縄文時代の地層の存在が確認できています。調査したエリアは開発された形跡も無く、現在も残っています。

(石川委員)

将来的に追加調査を検討するにあたって、この総括報告書にはそのボーリング調査の結果を盛り込める状態なのでしょう。

(森本主査)

庁内で行ったボーリング調査のデータは入手していますので、総括報告書に反映できるデータなのか、現在、検討しているところです。

(設楽委員)

総括報告書の目次の案でみると、第４章第１節、それから第５章第２節に反映されてくるということでしょうか。

(森本主査)

ボーリング調査のデータが反映できるとしたら、その部分に反映されてくるかと思います。

(高橋部会長)

編集執筆協力員の中に(株)パレオ・ラボの佐々木由香氏がいますので、土壌分析等について相談できると思います。

(飛田担当課長)

総括報告書に反映できるかはまだわかりませんが、(株)パレオ・ラボの佐々木氏には、土器片に残る種子等の圧痕について、調査を行っていただいております。

(岡本委員)

編集執筆協力員の方々の原稿などができた段階で事前にそれぞれの委員に確認できるよう

に、スムーズな運営をお願いしたいと思います。

(飛田担当課長)

次回以降の部会からは、データも細かくなりますので、なるべく早めに委員の皆様にご覧を
通してもらえように進めます。

(高橋部会長)

最新の研究成果も可能な限り、反映できると良いと思います。また、部会で初めて資料を
見ることが無いように事務局で早めに段取りしてもらいたいと思います。

議題（3）総括報告書の構成について

(高橋部会長)

議題の3、総括報告書の構成について、事務局から説明をお願いします。

【事務局から説明】

(大貫委員)

分析の結果などは専門家が執筆することで異論ありませんが、それぞれの結果を誰がどの
ようにまとめるのでしょうか。

(森本主査)

文化庁に事前相談を行い、総括の部分は市の職員で執筆するよう指導を受けております。

(高橋部会長)

資料によると、総括については執筆者未定とありますが、これはまだ事務局としても検討
中ということですね。他に目次の項目として挙げるべき内容などがあればご意見ください。

(設楽委員)

総括の中の第1節から第4節は、いわば個別の分析なので、これとは別に加曾利貝塚の特
徴を記述することが最も必要であると思います。総括の中で新たに節を設けてもよいし、す
でにある項目の中でも構わないが、それはしっかりと記述することが重要と考えます。

(岡本委員)

先ほどの議題の資料でもありましたが、加曾利貝塚が特別史跡に相応しいという価値をこ
の総括の部分で記載していく必要があると思いますので、第5節では東京湾東岸とありますが、
日本列島における加曾利貝塚の位置付けとか、もっと広い視点で、東アジア圏における
貝塚の位置付けなどを記載していく必要があるかと思います。

(石川委員)

これまでの考古学や、縄文研究・貝塚研究の長い歴史の中で加曾利貝塚は重要な遺跡とし
て位置付けられていることも、総括報告書の中に記載することですが、この構成だけだ
と総括に繋がっていかないと思います。やはり総括の中に調査結果から判明した加曾利貝塚
の特徴を記載する、それが特別史跡に必要な学術的な価値であると思います。これほどの遺
跡は他にないと思いますので。

(大貫委員)

個別の分析結果を踏まえて総括の執筆に入ることになると思いますが、各分析はいつごろ
結果が出るのでしょうか。

(飛田担当課長)

本年12月中に分析結果の原稿などを提出していただく予定です。それ以降になってしまう場合は、提出のあったところから順次、議題として検討していく予定です。

(泉委員)

この目次の案を見ると、第2章から第4章までが、それぞれ総括の第2節から第4節の部分に対応していることがわかりますが、いかにも『報告書』という内容になりすぎているのではと思います。そうではなく、こういうことを記載したいという目的があって、そのために個々の分析があるという戦略的な組み立てが必要と考えます。どういった分析をして、その結果、何を得たいのか、そのあたりも議論していければと思います。

(高橋部会長)

単純に分析結果に基づいた報告書ではなく、例えばテーマを設定してそれに基づいて調べたらこんなことが判明し、他の遺跡と比べるとこういうことが異なっていることが言えれば、加曽利貝塚が特異な存在であったということも言えると思います。

(設楽委員)

今回の総括報告書の中で、出土人骨の年代測定はやらないのでしょうか。

(森本主査)

人骨の年代測定は実施しない予定ですが、同位体分析としては、イノシシとシカ、イヌとオオカミ、といった動物遺体で行い飼育の有無などを調査しています。

(設楽委員)

条件が整えば、ぜひ人骨の年代測定も考えていただければと思います。

(森本主査)

加曽利貝塚の出土人骨に限らず、将来、千葉県全体の縄文人骨について、分析調査をしようという考えはあります。

(岡本委員)

事務局側で総括の部分を執筆するというのであれば、今年度から堀越氏が加曽利貝塚博物館の館長をしておられるので、堀越館長を中心に執筆体制を整えて、検討してもらいたいと思います。

(飛田担当課長)

これまでも再整理の進捗状況の報告は行ってまいりましたが、今後はさらに総括報告書の執筆も含めて検討していく体制を整えたいと思います。

(高橋部会長)

他にご意見が無いようであれば、本日の議事を終了します。それでは進行を事務局へお返しします。

(飛田担当課長)

お忙しい中、長時間ご審議いただきありがとうございました。以上で平成27年度第1回史跡加曽利貝塚総括報告書編集部会を閉会します。

—了—